

地理歴史科 日本史B シラバス		4単位	普通科 第3学年 1・2・3・4 組	
年間の到達目標		日本の歴史の展開について、世界史的な視野に立って各時代の特色と変遷を総合的に考察し、我が国の文化と伝統についての認識を深める。		
教科書・副教材等		教科書：『新選日本史B』東京書籍 副教材：『日本史のライブラリー』東京法令出版		
学期	月	学習内容	学習のねらい	学習の方法
1	4	「日本史B」学習について 第1章 古代国家の形成と古代文化 [1]原始社会の生活と文化 [2]農耕社会の形成と大陸文化の摂取	・自然環境や大陸からの文化の影響による生活の変化に着目して、旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代の社会について理解します。	講義 ビデオ教材視聴
	5	[3]律令国家の形成と古代文化の展開 [4]貴族政治と国風文化の発達	・日本における国家の形成と律令体制の確立の過程、隋・唐など東アジア世界との交流に着目して古代国家の展開と天平文化の特色について理解します。 ・公領の動きや武士の台頭など地方の動向に着目して、古代国家の変遷と国風文化の展開及び中世社会の芽生えについて理解します。	プリント作業 小テスト レポート作成
	6	第2章 武家社会の形成と中世文化 [1]武家社会の形成と文化の新気運	・武士の土地支配と公武関係、宋・元との関わりに着目して、武家政権の形成過程と鎌倉新仏教など文化にみられる新しい動きについて理解します。	
	7	[2]下剋上の社会と庶民文化の萌芽	・日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流、庶民の台頭に着目して、産業経済の発展や下剋上など中世社会の多様な展開及び武家文化と公家文化の関わりや、庶民文化の芽生えなど文化の動向について理解します。	
〔課題・提出物等〕 作業プリント、小テスト、レポート作成				
〔第1学期の評価方法〕 1 中間と期末の定期考査の成績、小テスト、作業プリント・レポートなどの内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、中間と期末の考査成績で80%、作業プリント、小テスト、学習への参加態度で20%の配分で行います。				
2	9	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 [1]ヨーロッパ文化との接触と国内統一	・異質な文化との積極的な接触が、新しい時代を要求するものであったことを理解します。	講義 ビデオ教材視聴
	10	[2]幕藩体制の成立	・幕藩体制の仕組みと鎖国政策の過程（幕藩体制の強化）及びその影響を理解します。	プリント作業
	11	[3]近世社会の発達と町人文化	・初期の武断政治から文治政治への転換と幕政安定期の政治を理解します。 ・江戸時代の産業経済の基本的な形を理解します。	小テスト レポート作成
	12	[4]近世社会の動揺と庶民文化の発達	・幕藩体制の動揺が、領主財政の窮乏として現れ、百姓一揆・打ちこわしの頻発となっていくことを理解し、さらに各改革の特色を理解します。 ・幕政改革の失敗、藩政改革の成功による雄藩登場の流れを理解します。	
〔課題・提出物等〕 作業プリント、小テスト、レポート作成				
〔第2学期の評価方法〕 1 中間と期末の定期考査の成績、小テスト、作業プリント・レポートなどの内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、中間と期末の考査成績で80%、作業プリント、小テスト、学習への参加態度で20%の配分で行います。				
3	1	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 [1]開国から明治維新へ	・開国が幕藩体制を突き崩す大きな要因となったことを理解します。 ・諸制度の改革や富国強兵・殖産興業政策について、欧米列強との関わりに着目して政治、外交、経済など様々な面から理解します。 ・欧米文化が導入され、伝統文化を否定する動きを伴いつつ、文明開化が明治の文化形成に寄与したことを理解します。	講義 ビデオ教材視聴 プリント作業 小テスト レポート作成
	2			
	3			
〔課題・提出物等〕 作業プリント、小テスト、レポート作成				
〔第3学期の評価方法〕 1 学年末考査の成績、小テスト、作業プリント・レポートなどの内容、学習活動への参加態度などで評価します。 2 学期全体の評価は、学年末考査の成績で80%、作業プリント、小テスト、学習への参加態度で20%の配分で行います。				
確かな学力を身につけるためのアドバイス		年号、地域、人物、史実等の事柄について、多くのことを覚えることも重要ですが、問題について原因や対策を考察する姿勢が大切です。 プリントや副教材の作業では、自ら歴史年表や歴史地図を読み、資料を分析して活用できるようにしておくことが効果的な学習につながります。 レポート学習では、資料や映像に親しみ、互いのレポートも参考にして、次回の作成に活かしてください。		
授業を受けるにあたって守って欲しい事項		作業学習には几帳面に取り組むとともに自分で工夫を凝らしてプリントや副教材を完成してください。また、それらの課題については、必ず期限を守って提出して下さい。		
評価の観点	内 容		評 価 方 法	
関心・意欲 態度	歴史的事象の仕組みや人間との関わりについて関心を持ち、意欲的に課題を追求しようとしているか。		学習活動への参加の仕方や態度	
思考・判断	歴史的事象の仕組みや人間との関わりについて関心を持ち、意欲的に課題を追求しようとしているか。		定期考査 作業プリント	
資料活用の 技能・表現	史料の内容を理解するだけでなく、その史料が編纂された歴史的背景についても考察し、発展的に歴史の流れを判断できるか。		定期考査 作業プリント	
知識・理解	歴史の系統的知識を身につけ、総合的観点から歴史の流れをとらえることができるか。		定期考査 小テスト	
〔担当者からのメッセージ〕 講義を中心として歴史の全体的な流れを確実に理解した上で、「その歴史的な事象がなぜ起きたのか？」という問題意識を持って、自ら積極的に取り組んでください。きっと面白い発見があります。 なお、選択日本史B（2単位）受講している生徒の評価については、合わせて算出する。その比率は（4単位）2：（2単位）1とする。				